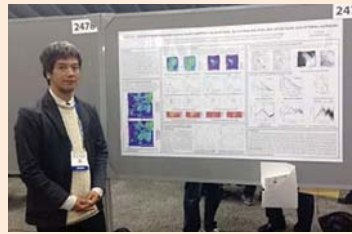


国際会議から

米国地球物理連合大会

アメリカ合衆国のサンフランシスコで開催された2013 AGU (American Geophysical Union) Fall Meetingに12月9日から4日間、参加しました。AGU Fall Meetingは会議名にあるようにアメリカ合衆国の国内会議ですが、世界各地から毎年2万名を超える研究者、技術者が本会議に参加しています。そのため、地球物理学を研究する者にとっては、最新の研究成果と研究動向を具体的な形で見る事ができる非常に貴重な会議です。

私が取り組んでいる早期地震動予測や早期地震防災分野の第一人者であるカリフォルニア大学バークレー校、地震学研究所長のRichard Allen博士の研究発表を聴講することができました。Allen博士は、早期地震動予測に関する今後の研究として、地震発生直後に正確な地震規模や断層面、断層すべりを推定する重要性とその試みを話され、非常に



津野靖士  
鉄道地震工学研究センター  
地震解析研究室  
副主任研究員

参考になりました。私は、東日本大震災時に関東平野で観測された長周期地震動に関する研究とボアホールに敷設された深部地震計を利用した地表面地震動のリアルタイム予測法に関する研究について2件のポスター発表を行いました。海外の研究者たちや専門分野の異なる人たちと議論ができ、有意義な会議となりました。このような会議に積極的に参加し、私たちの研究成果を発信したり、最新の研究動向を調査したりすることはとても重要であると思います。



大会におけるポスター会場

正式名称：American Geophysical Union Fall Meeting  
 開催国：アメリカ合衆国(サンフランシスコ)  
 期間：2013/12/9-13  
 主催：American Geophysical Union  
 開催頻度：年1回  
 次回開催予定：2014年12月 アメリカ合衆国(サンフランシスコ)  
 ホームページURL：<http://fallmeeting.agu.org/2014/>